

# 月刊さいとう健 けん

自由民主党 衆議院  
千葉県第七選挙区支部長

創刊号

(平成19年9月号)

〈討議資料〉

新しい明日のために

その1

「強くて、やさしい国」

を目指して

(オモテ面)



第5回

さいとう健と語る会

寺脇 研氏

と語りませんか!

平成19年9月22日

(ウラ面)

## 選挙で感じた違和感

昨年、生まれて初めて選挙を経験してきて、違和感を感じたことが一つありました。当たり前のことですが、選挙に出る以上、多くの候補者のリーフレットやビラをとりよせて勉強してみました。

そうしましたら、市議選、県議選、国政選挙といずれも似たような主張が並んでおり、差がないんです。どうして、市政を目指す人と国政を目指す人の主張が似たようなものになるのか、不思議でした。

おそらく、住民の皆さんの関心のある項目を強調しようとする、似たり寄ったりになるといふことなのでしょう。

それは大変大事なことで、私自身も当然重要視しているのですが、やはり、国政を目指す以上は、それだけではいけなくて、この日本をどうしたいのかについて、一言なくてはいけないと思います。

そこで、私なりの目指すべき日本のイメージを、今回の「月刊さいとう健」で紹介したいと思います。

## 日本が目指すべき方向

「道に迷わば、原点にもどれ」という私

## さいとう健 プロフィール



昭和34年 6月14日東京生まれ(48歳)  
昭和58年 通商産業省入省  
平成4年 中小企業庁金融課  
平成11年 通商産業大臣秘書官  
平成15年 経済産業省電力基盤整備課長  
平成16年 埼玉県副知事  
平成18年 衆議院千葉七区補選にて  
公募により221名の中から選ばれるも、  
955票差で惜敗

〔学歴等〕 東京大学卒業、ハーバード大学修士  
東京大学非常勤講師(平成14~15年)  
〔趣味〕 読書、子供と遊ぶこと、カラオケ  
ハンドボール(大学時代は体育会キャプテン)  
妻、一男、一女、オス犬一匹  
〔家族〕 正義  
〔好きな言葉〕 ・自由民主党衆議院千葉七区選挙区支部長  
として活躍中  
(野田市・流山市・松戸市北部)  
・自由民主党幹事長補佐  
・多摩大学大学院客員教授  
〔現在〕 ・東京財団研究員 ・流山市在住

の好きな言葉があります。  
日本の原点は、いったい何なんでしょう  
か?  
資源もなく、エネルギーもほとんどを輸  
入に頼り、食糧すら4割しか自給できな  
い、わが日本にとりましては、輸出などで  
外貨を稼ぐ産業を持ってないと、そもそも  
食べていけません。つまり、強い経済・産  
業を持ち、かつ、世界の国々と良好な通商  
関係をもつ「強い国」、これが日本の目指  
すべき第一の原点だと思います。  
そして、社会的に支援が必要な方々に対し  
ては「やさしい国」、これが第二の原点です。